

まちづくり交付金 事後評価シート
浅科地区

平成21年12月

長野県佐久市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	佐久市	地区名	浅科地区			面積	391ha
交付期間	平成17年度～21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	714百万円	国費率	0.406		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業	道路(A2-6号線、A南39号線)												
	提案事業	統合保育所整備事業、児童館整備事業												
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	基幹事業	道路(A南46号線) 高質空間形成施設(防犯灯設置事業)			道路:利用頻度が高くないことから中止 高質:他事業による実施に変更			道路:数値指標「通学路整備率」に関連するが、目標値は据え置く						
	提案事業													
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(A南27号線) 地域生活基盤施設(排水路整備事業)			道路:歩道橋ブロックの設置及び舗装により、子供達の安全を確保 地生:床下浸水等の被害を防止する			道路:数値指標「通学路整備率」への貢献を見込む 地生:目標3「水害のないまちづくり」に貢献する				
	提案事業	療育支援センター整備事業 事業効果分析業務			療育:既存の施設を療育に適している本地区に移転 事分:専門知識を持った者に適正な事後評価を行ってもらう			影響なし						
	交付期間の変更		当初	平成17年度～21年度		変更		平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				
										変更なし				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	人口	人	6,657	H16	6,715	H21	-	6,532	×	あり なし ●	子育て支援体制は整ったものの、人口増加に転じるほどの要因には成り得なかった。	平成22年4月	
	指標2	児童保育者数(児童館利用者数)	人/日	25	H16	60	H21	-	78	○	あり なし	児童館が完成したことにより、地域における児童の健全育成活動拠点が整備された。	平成23年4月	
	指標3	通学路歩道整備率	%	9	H16	16	H21	-	15	△	あり なし ●	当初計画では実施予定だったA南46号線の整備を中止したため、実質的には目標を達成したといえる。	-	
	指標4										あり なし あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	療育支援センター定員数	人/日	10	H16	/	/	-	15	/	/	療育支援センターの整備により、早期発見・早期対応の取組が強化され、障害児・家庭の支援体制が充実した。	-	
	その他の数値指標2					/	/	/	/	/	/			
その他の数値指標3					/	/	/	/	/	/				
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 歩道付き道路や排水路の整備により、地区住民が安心・安全に暮らせる環境が整った。 無人の建物があることにより防犯上心配であったが、療育支援センターができたことで安心感が増し、周辺地域が賑やかになった。 													
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況										今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

浅科地区(長野県佐久市) まちづくり交付金の成果概要

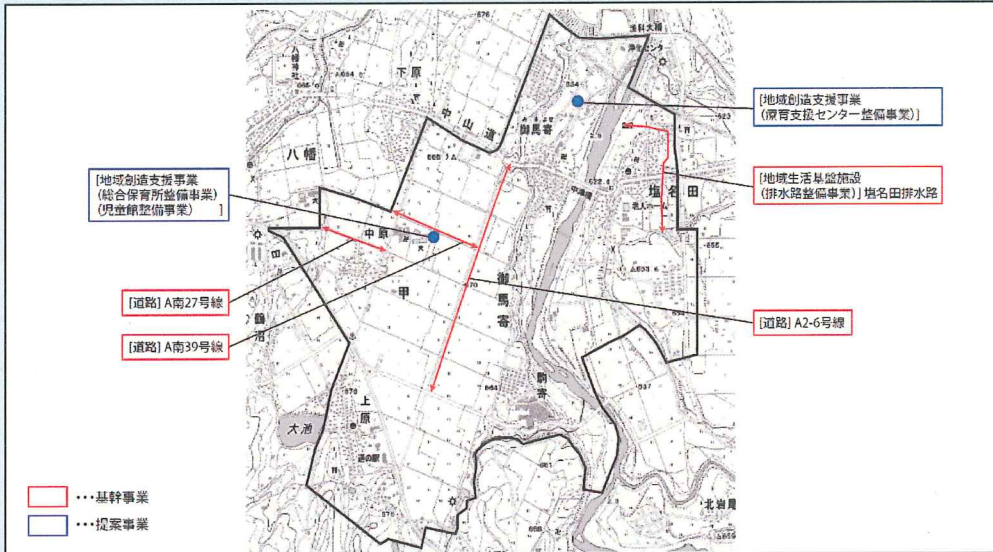
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	人口	単位: 人	6,657	H16	6,715	H21	6,532	H21
大目標: 子どもたちに、安全、安心、楽しさを与えるまちづくり	学童保育者数(児童館利用者数)	単位: 人/日	25	H16	60	H21	78	H20
目標1: 安全で快適な道路環境による交通弱者に優しいまちづくり	通学路歩道整備率	単位: %	9	H16	16	H21	15	H21
目標2: 児童・園児を健全に育むまちづくり								
目標3: 水害の無いまちづくり								



■あさしな児童館



■あさしな保育園



■療育支援センター



■塩名田排水路



■A2-6号線



■A南39号線

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路となっている市道A2-6号線、A南39号線及びA南27号線の歩道が整備され、児童・生徒の通学時の安全性が向上した。 ・保育所の整備により未満児保育・長時間保育の態勢が充実した。 ・児童館の完成、運用により、地域における児童の健全育成活動拠点が整備された。 ・排水路の改良により水路の排水能力が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き排水路の改良を推進するとともに、雨水浸透ますの設置や透水性舗装の整備、農地・自然地の保全促進を行って地区の水循環を改善し、水害等に強いまちづくりを総合的に進める。 ・児童館が、周囲の農家などと連携して、農業体験や地域の歴史・景観を学習する機会の充実を図り、もって地域文化の継承、青少年の健全育成を推進する。 ・A南46号線は通学路ではないため、利用頻度が高くないことから歩道整備を中止した経緯がある。現状では、早急に整備を実施する必要はないと考えられるが、今後とも、他の歩道未整備区間を含め、交通状況や利用状況に変化がないか継続的にモニタリングしていく。